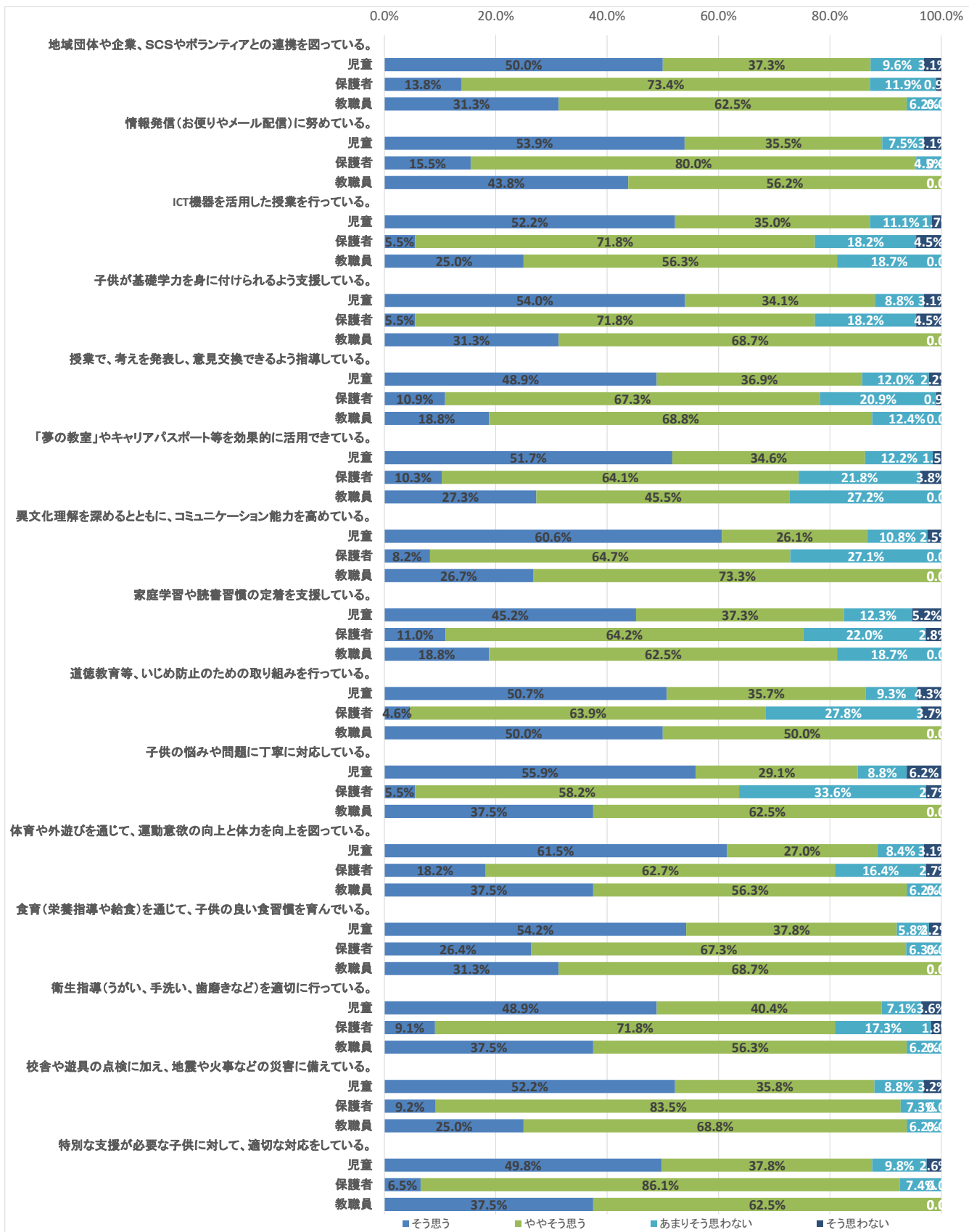


令和6年度 学校評価アンケート

令和7年1月17日
東金市立正気小学校
校長 尾崎 太康

令和6年12月に実施いたしました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。学校評価アンケートの内容について、今回は学校要覧に記載した「経営の重点」に基づき大幅に変更しました。また、学校としての自己評価を行いました。これらの結果を基に、学校運営懇談会委員の意見等を踏まえつつ、学校教育の一層の充実に努めてまいります。御協力ありがとうございました。

【表示の仕方と回答数等】

上段＝児童（回答数 233人）
中段＝保護者（回答数 110人）
下段＝教職員（回答数 16人）

令和6年度 正気小学校 学校評価（自己評価）

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで学び、たくましく生きる児童の育成

2 自己評価結果

- (1) 「割合」の欄は、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答の割合
(2) 「取組状況の目安」 80%以上：A 60%～80%未満：B 60%未満：C

No.	項 目	評価者	割合	取組状況	改善の方策
創意ある学校経営	地域団体や企業、SCSやボランティアとの連携を図っている。	児童	87%	A	地域団体や企業、SCSとの連携、情報発信において、児童、保護者、教職員から高い評価を得ている。学校ボランティアの募集方法や運営方法については、より一層の改善を図り、より多くの皆様にご参加いただけるよう努めていく。
		保護者	87%	A	
		教職員	94%	A	
	情報発信（お便りやメール配信）に努めている。	児童	89%	A	
		保護者	96%	A	
		教職員	100%	A	
人生を主体的に切り拓くための学びの確立	ICT機器を活用した授業を行っている。	児童	87%	A	ICT機器を活用した授業については、今後、学校だよりな等で積極的な情報発信を行う。児童が家庭でもICT機器に触れる機会を増やすため、学習用Webサイトを活用する。ICTサポーターによる支援や、教育DXを活用した研修を充実させ、ICT機器を効果的に活用できる環境を整える。個別最適な学習の実現に向け、AI搭載のドリルプラネットを活用し、児童一人ひとりの学習進度や理解度に合わせる。協働学習や体験学習など、多様な学習形態を取り入れることで、児童の主体的な学びを促す。教職員は、効果的な指導方法に関する研修を継続的にを行い、児童一人ひとりの学習をきめ細かくサポートする。 今年度7月から新たに配置された学校司書による、図書室の環境整備と読書指導の強化を進める。児童の興味関心に合わせた図書の充実を図り、読書習慣の定着を目指す。
		保護者	77%	B	
		教職員	81%	A	
	子供が基礎学力を身に付けられるよう支援している。	児童	88%	A	
		保護者	77%	B	
		教職員	100%	A	
	授業で、考えを発表し、意見交換できるよう指導している。	児童	86%	A	
		保護者	78%	B	
		教職員	88%	A	
	「夢の教室」やキャリアパスポート等を効果的に活用できている。	児童	86%	A	
		保護者	74%	B	
		教職員	73%	B	
	異文化理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を高めている。	児童	87%	A	
		保護者	73%	B	
		教職員	100%	A	
	家庭学習や読書習慣の定着を支援している。	児童	83%	A	
		保護者	75%	B	
		教職員	81%	A	
心道の徳教性を高め、健康を、たくましく生き、力ましく生きていることの推進	道徳教育等、いじめ防止のための取り組みを行っている。	児童	86%	A	保護者への情報発信を強化し、学校での具体的な取り組みを共有することで、理解と信頼を深める。児童の心の健康を第一に考え、教職員の専門性向上を図りながら、スクールカウンセラーや外部機関との連携を強化し、保護者との連携のもと、児童の声をしっかりと聞き、より良い学校環境を築く。 多様な活動を取り入れることで、スマイルタイムを運動能力向上だけでなく、協調性や創造性を育むための場としてさらに活用する。 味噌づくり体験や栄養バランスの学習をとおして、残食率は低下してきたものの、魚や野菜の摂取不足が課題となっている。今後は、児童の好みに合うメニュー開発や食材に関する体験型学習を推進する。 衛生面では、手洗い・うがいを徹底し、感染症予防に努めている。給食当番の衛生教育も強化する。 災害対策は引き続き定期的な点検や訓練を実施し、より高い安全意識を醸成する。
		保護者	69%	B	
		教職員	100%	A	
	子供の悩みや問題に丁寧に対応している。	児童	85%	A	
		保護者	64%	B	
		教職員	100%	A	
	体育や外遊びを通じて、運動意欲の向上と体力を向上を図っている。	児童	89%	A	
		保護者	81%	A	
		教職員	94%	A	
	食育（栄養指導や給食）を通じて、子供の良い食習慣を育んでいる。	児童	92%	A	
		保護者	94%	A	
		教職員	100%	A	
	衛生指導（うがい、手洗い、歯磨きなど）を適切に行っている。	児童	89%	A	
		保護者	81%	A	
		教職員	94%	A	
	校舎や遊具の点検に加え、地震や火事などの災害に備えている。	児童	88%	A	
		保護者	93%	A	
		教職員	94%	A	
特別支援教育	特別な支援が必要な子供に対して、適切な対応をしている。	児童	88%	A	教育相談窓を積極的に行いつつ、様々な特性を持つ児童に対し、個別支援計画を作成するなど、保護者と密に連携していく。また、教職員の専門性を高め、チームティーチングを推進することで、一人ひとりの児童に最適な教育的支援を行っていく。
		保護者	93%	A	
		教職員	100%	A	

自由記述欄についてお書きいただいたことにつきまして、「⇒」の後に、学校からのコメントを添えております。紙面の都合上、また個人が特定されないような配慮から、一部を抜粋して掲載していることをご容赦ください。

○アンケートで実際に学校の様子が見られないので適切な回答ができない項目がある。（設問5など）

○実態がわからないのにアンケートの意味があるのでしょうか？

○アンケート項目が正直「わからない」と思うことばかりでした。SCSになってから、強制力が増し、都合がつかず参加できない者は悪とされているようです。PTAの時は、本部の方々がみなさんととても良い方たちで、温かくみんなで協力して子供たちを見守っていく雰囲気だったと思います。冷たくなってしまい、残念です。子供の心を大切にするアンケートに答えましたが、校長先生の目にふれなかったようで、なんのためのアンケートだったのか、不満です。他のクラスでは、担任の先生から直接連絡があった人もいたと聞きました。勇気を出して相談しても、こんな対応では、子供の心を大切にしているとは思えません。担任の先生は、よくしてくれています。

⇒設問について適切な回答が難しい場合があるとのこと、大変申し訳なく思います。本アンケートは、学校教育法第67条に基づく趣旨を踏まえて実施しており、また、千葉県『教育立県ちば』プランの推進状況に沿った形で項目を設定しております。そのため、全ての設問が直接的に日常の学校の様子をご覧いただくことなくお答えいただく形となる場合もございます。ただし、今後のアンケート設計において、より回答しやすい内容となるよう工夫を重ねてまいります。引き続き、ご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

PTA活動への温かい思いを共有いただき、ありがとうございます。PTAからSCSへの移行に伴い、ご心配な点があるかと思えます。SCSは、PTAとは異なり、より柔軟なボランティア組織です。ご多忙の中、学校行事や子どもたちの活動にご協力いただき、本当に感謝しております。SCSの目的は、子どもたちが笑顔で学校生活を送れるよう、保護者や教職員が力を合わせてサポートすることです。PTAと同様に、地域全体で子どもたちを見守っていくという考え方は変わりません。ご自身の得意なことや興味のある活動に合わせた形で、無理のない範囲で参加していただければ幸いです。SCSは、強制的な参加を求めるものではなく、あくまでボランティア活動です。年に一度、45分から2時間程度の活動をお願いしているのは、学校全体で子どもたちのために協力し合いたいという思いからです。ご都合が合わない場合は、遠慮なくお申し出ください。誰一人として、参加できないことを責めるつもりはありません。SCSは、多様な働き方やライフスタイルを持つ保護者の方々が、それぞれに合った形で学校に関わることができるよう、柔軟に対応していきます。引き続き、SCSの活動にご理解とご協力をお願いいたします。

「子供の心を大切にするアンケート」の結果や内容については、校長も確認し、いただいた内容については、担任の関与が解決を早めると判断した場合には、校長の指示のもと担任と連携し、適切な対応を行うよう努めております。これからも保護者の皆様と協力しながら、子供たちの健やかな成長と学校運営の向上に努めて参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○アプリばかりの対応が多く、今まで月の行事の紙を楽しみに待っていた家族が残念がっていました。写真なども途中なら買えず、1年生からの写真もほしかった。

⇒これまで紙媒体の行事予定表を楽しみにして下さっていたとのこと、誠にありがとうございます。時代の変化とともに、学校ではより多くの保護者の方々に迅速かつ正確な情報を届けられるよう、デジタル化を進めてまいりましたが、長年慣れ親しんだ紙媒体への愛着も深く理解しております。

学校では、文部科学省が推進する働き方改革の一環として、学校と保護者の皆様との連絡手段をデジタル化し、より効率的かつ迅速な情報提供を目指しております。アプリ配信により、行事予定や学校の様子をカラーで確認できるなどの利便性を評価するお声もいただいております。プリンターをお使いいただければご家庭でもカラーでの印刷が可能ですので、必要に応じてご活用いただければ幸いです。

また、行事や学校生活の写真については、SCS広報スタッフがスナップスナップを活用し、精力的に掲載しております。これにより、多くの保護者の皆様に学校生活の様子をお届けできるようになりました。一方で、写真購入に関するご希望や過去の記録を振り返りたいというご要望についても真摯に受け止め、今後の改善に努めて参ります。

○学年(担任の先生)によって様々な印象を受けます。

○担任の先生は差別などしなく、みんなを良く見てくれていて助かっているが、学校全体で見ると差別したり一方的に怒っていたりする先生がいて悩んでる子がいます。

○担任が変わってから、前任の先生との違いに戸惑った。前任が良すぎて、今の先生と比較してしまい、生徒との向

き合い方の悪さに不安になる。次年度は前任の先生を希望したい。

⇒すべての子供たちが安心して学校生活を送れるよう、教職員一同が公平で丁寧な指導に努めております。いただいたご意見を真摯に受け止め、改めて教職員間で意識を共有し、指導の在り方を見直して参ります。

何か具体的な事例やお困りのことがございましたら、どうぞ遠慮なく学校までお知らせください。

○下校時刻に関して、今年度は早過ぎて規定時間より10～20分程度の遅延が日々生じているように感じます。いま一度、精査していただけると嬉しいです。

⇒下校時間については、各学級で帰りの会を行い、その後に下校する流れとなっておりますが、一部の学級では帰りの会が常時10分で終わらない場合があるのも事実です。そのため、帰りの会の時間については、今後の運営方法を含め校内で検討して参ります。なお、特別な事情が発生し、下校時間に遅れが生じる日があることについては、何卒ご理解いただけますと幸いです。

○今年度から下校時刻が早まりましたが、新学期に1時間ほど早くなったと説明はありましたが、前年度より1時間半くらい早まってますし、周りの学校も同じくらいとありましたが、他学校の方に聞くとさすがに木曜日の13時40分は早すぎるとビックリされます。こども園のお迎えより早いのも困っているという方々の声も聞きました。先生方の働き方改革のためは理解しますが保護者はその日は仕事を休んだりしないといけないのですか？子供が友達と遊ぶのは良いことですが家がたまり場になりゴミなど放置されたりと困ることもあります。中には相手の親御さんが分からない相手もいるので何も言えず……。それと今、物騒な話題も多いのに仕事で子供の下校に間に合わなくて鍵を持たせて自分で開けて帰宅させておりますが何かあったらと不安です。来年度も同じでしょうか？

インフルエンザ等で学級閉鎖や学年閉鎖が出た時に当該学年だけではなく全校に知らせることはしてくれないのですか？

今年度から写真をネット上で注文とありますが、正面で何枚も写っている子とそうではない子の差が激しすぎて自分の子を探すのも疲れます。撮ってもらっているので文句などは言えませんがさすがにあきらかに同じ子ばかりが何枚もあるのは悲しくなります。

○帰りが早くなり、休み時間が減っているように思います。以前、放課後の充実を図っていくという回答があったと思いますが、業間休みや昼休みを短縮せずにしっかり確保し、子供たちがたくさん遊んだり楽しみながら身体を動かせる時間を作ったりしていただけたらありがたいです。

⇒本校では、今年度より木曜日を13時40分下校の体制を取らせていただいております。これは文部科学省が定める学習指導要領に基づき、必要な授業時間を十分に確保した上で教育活動を行っているためです。また、小学校教育では、子供たちが10教科3領域の多岐にわたる学習に取り組む必要があるほか、教職員が事務業務や研究活動、一人ひとりの子供に応じた指導に取り組む時間も求められています。さらに、全国的に授業時数に余剰時間があることが指摘されており、今後は適切な授業時数の範囲内で教育活動を進める動きが広がると見込まれます。ただし、地域や学校によって対応に差がある点もございます。教職員の働き方改革の一環として、時間外労働削減への取り組みも進めておりますが、1ヶ月の残業時間が80時間を超える職員がいる状況です。子供たちにとってより良い教育環境を維持するため、また教職員が適切な環境で教育活動に専念できるよう、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

放課後のご家庭内での出来事や管理については、学校が直接関与できる範囲を超えるものとなります。特にお友達との遊びや訪問については、ルールやマナーについてお子さんと話し合い、あらかじめご家庭内で共有いただくことが大切です。また、学童保育や地域の活動に参加することで、放課後の選択肢を広げ、保護者のご不安を和らげる手段を講じることも可能です。

業間休みや昼休みについてご意見をいただきましたが、本校では東金市および他市町村の教育課程を参考にしながら、子供たちが遊びや身体を動かす大切な時間として、これらの休み時間を確保していると認識しております。これからも子供たちの健全な成長を支える環境づくりに努めてまいります。

インフルエンザ等による学級閉鎖や学年閉鎖の際、全校へのお知らせをご要望いただきました件につきまして、現在のところ、該当する学年の保護者の皆様にのみお知らせする対応を取らせていただいております。これは、学級や学年ごとに感染状況が異なり、閉鎖に関する情報を全校にお伝えすることで、特定の学級や児童が個別に特定されるリスクや、不必要な混乱や不安を招く可能性があるためです。なお、感染症予防に関する全校的な取り組みや注意喚起については、引き続き全校に向けて実施してまいります。お子さんやご家庭におかれましても、手洗いやうがい、体調管理などの予防策について改めてご協力をお願い申し上げます。

写真に関するご意見については、まず初めに、行事の写真撮影をボランティアで引き受けてくださっているＳＣＳ広報スタッフの皆さまに、学校として改めて深く感謝を申し上げます。この活動は、撮影機材や交通費をご自身で負担し、時間を割いてくださっている方々のご厚意によるものです。そのため、全ての児童・生徒を均等に撮影することは現実的に困難な状況がございます。これまでもお知らせの中で、写真に偏りが生じる可能性についてご説明をさせていただいております。こうした制約がある中で、多くの写真をご覧いただけること自体がボランティアの方々の尽力によるものであることをご理解いただければ幸いです。もし特定の写真の不足についてお気付きの点がございましたら、学校としても可能な範囲で改善を検討いたします。一方で、さらに多くの写真を撮影するためには人手が必要となります。ＳＣＳ広報スタッフについてはいつでも募集しておりますので、ぜひご協力をお願いします。

○他の学校は進んでるのに、正気小学校は授業や勉強が遅れてて不安です。小さいうちが伸びるから、時間がなくて教えられる範囲が少ないのもわかるけど、子供の能力がもっと高まるように授業内容や指導方法を考えて欲しい。公立に求めすぎだというなら、すみませんm(_ _)m子供の可能性を引き出したいです

⇒授業の進度についてご不安を抱かれているとのことですが、本校では、他校と同様、年間指導計画に基づいて学習を進めております。授業内容や指導方法につきましても、文部科学省が定める学習指導要領や教科書に準拠し、計画的に進行しています。特に、2月下旬に実施される千葉県学力標準検査に向けて、学習内容を計画的に調整し、全ての内容を確実に履修できるよう努めています。そのため、他校と比較して遅れているということはありません。

「お子さんの能力を高めたい」という保護者の皆様のお気持ちは、私たち教職員一同も深く共有しております。子供たち一人ひとりの可能性を引き出すため、日々の指導方法や授業内容について研究・研修を重ね、教育活動の質をさらに向上させるよう取り組んで参ります。

○正気だけ遊具が少ないから運動神経が悪くなると思う

⇒正気小学校の遊具が他校と比較して少ないとのこと指摘につきましては、東金市内の他校や近隣の市町村においても、遊具が壊れた際には安全確保のため撤去を優先し、新規の購入や設置が積極的に進められていないのが現状です。これは、安全性の確保や予算的な制約によるものであり、どの学校も同様の課題を抱えています。

しかしながら、遊具が運動能力の発達に関係するといった視点は重要であり、学校としても安全で楽しい運動環境の提供に努めてまいります。引き続き、限られたリソースの中で、児童たちがのびのびと活動できる環境づくりを進めてまいります。

○送迎の車が、道を横断する時、校門に入る時、一時停止しないことがあって怖いです。校門の方にも見守りがあると助かります。

⇒送迎時の安全確保について、登校時には、防犯パトロール隊と校長が2名体制で校門付近に立ち、送迎車両の安全確認を行っております。一方で、下校時については、登校時と同様の体制をとることが理想ではございますが、人員の都合上、現状では対応が難しい状況です。安全確保のため、保護者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和6年年7月19日付けのマチコミにて、添付ファイルとともに保護者の皆様へ送迎時の安全運転について周知徹底を図りました。今後も、危険な状況が見られた際には、適宜メール等で情報を共有し、皆様へ注意喚起を行ってまいります。

○次年度に向けてと言う事なので今年度感じたことを記述します。考慮していただけたらと思います。まず今年度はクラス替えを見て、あまりにも??だったので、とてもがっかりしました。数名の入れ替えで、誰のためのクラス替えなんだろうと疑問に思っています。本人たちも受け持った担任の先生もクラスを良くしようと頑張っているのも解っていますが、色々な活動を見ていると学年で統一されていなかったり、雑に扱われている感じがして不公平だなと感じることが多く、可哀想に思っていました。少し前のアンケートにも書きましたが読んでいただけたのかなとアンケートの意味があるのか疑問です。勉強面に関しても、宿題の量であったり、連絡帳の書き方であったり勉強の仕方も担任の先生によって、随分と違うので戸惑っています。子供たちの心にも影響することなので学校生活がより楽しく過ごせるよう到来年度はお願いしたいと思います。

⇒学級編制に関しましては、学力や体力、性格的な特性などの客観的な基準をもとに、公平性を重視して行っております。これらの基準は、児童一人ひとりが学びやすい環境で過ごせるように設定されており、編成の際には児童と関係する職員全員で慎重に話し合い、決定しています。個人的な感情や好みで判断することは一切なく、全員が最大限の成長を遂げられることを目指して配慮しております。編成について疑問や不安がある場合は、いつでも学校までお

問い合わせください。学校全体の方針をご理解いただき、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

宿題の量に関しましては、授業の進度や学級の実態に応じて調整する場合があります。そのため、多少の差が生じることもございますが、全体としてバランスの取れた学習機会を提供するよう努めております。また、連絡帳については、必要な情報（連絡事項、持ち物、宿題など）が適切に伝わるよう全教職員で確認を行っています。ただし、担任の先生による書き方や工夫に違いが出る場合もあるため、統一性の確保に向けて引き続き改善を図ってまいります。

○信用ならない学校で残念です。

⇒保護者の皆様の声は、学校運営や教育活動をより良くするための貴重なご意見として真摯に受け止めています。具体的なご不安やお気付きの点がございましたら、ぜひお知らせいただければ幸いです。直接ご相談いただくことで、問題を共有し、改善策を共に考えることができると考えております。

○いつもありがとうございます。毎日楽しく学校に通っています。

⇒お子さんが毎日楽しく学校に通っているとお知らせをいただき、大変嬉しく思います。子供たちが充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一同、日々努力してまいりましたので、その成果を感じただけで何よりです。今後もお子さんがさらに楽しく、安心して学べる環境を提供できるよう、引き続き尽力してまいります。保護者の皆様のご支援があつてこそ、学校が成り立っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。